



南山城水害50周年紙



安心・安全で笑顔あふれるまち 宇治田原町を目指して



災害に強いまちづくり
それは一人ひとりの
心がまえから

ぼくはとび起きて、おとうとをねどこから出して、庭を見ました。庭は川です。ぼくは「うわー」といつて、あとは何ともいえません。うらのしば入れの方を見ていたおとうさんが「はやくそとへ出よ」と大声でいいました。ぼくはいちばんにそとへ出ました。そとは、かさませないすごい雨です。うらの方で、「ゴー、ゴトン、ピン」と、ものすごい音がしました。こんなおそろしいことは、死ぬまで忘れないと思えました。

(当時の5年生の作文「山崩れ」より)



ごあいさつ

かつてない被害をもたらした阪神・淡路大震災から、はや8年が経過しました。私たちは今でも、テレビで目の当たりにした発生直後の変わり果てた街や人々の悲しむ姿を、決して忘れることはできません。

この自然豊かなまちでも、今から半世紀前の昭和28年8月14日。夜半から翌15日未明にかけて南山城一帯を襲った集中豪雨により、田原・宇治田原村併せて24名もの尊い命が奪われ、まちの貴重な財産も失うという大惨事が起こりました。

そしてこの災害は、本町戦後最大の被害をもたらした災害として、私たち住民一人ひとりに深い悲しみと痛恨のつめあとを刻み込みました。

宇治田原町では、これらの悲しみを忘却の彼方へおしやることなく、教訓ととらえ防災対策の強化を図るための取り組みを進めています。地域の防災力の向上や住民の安全確保のため、防災組織等の充実はもちろんのこと、あらゆる面において「防災のまち」づくりの大切さを認識しています。

しかしながら、安全で災害にも強いまちづくりは行政だけでできるものではなく、住民一人ひとりが防災意識をしっかりと持ち、行政と住民が役割分担しながら協働で進めていく必要があります。

このたび作成しました「南山城水害50周年紙」が住民皆さまの防災意識の高揚の一助となるとともに、自主的な防災活動につなげていただければ幸いです。

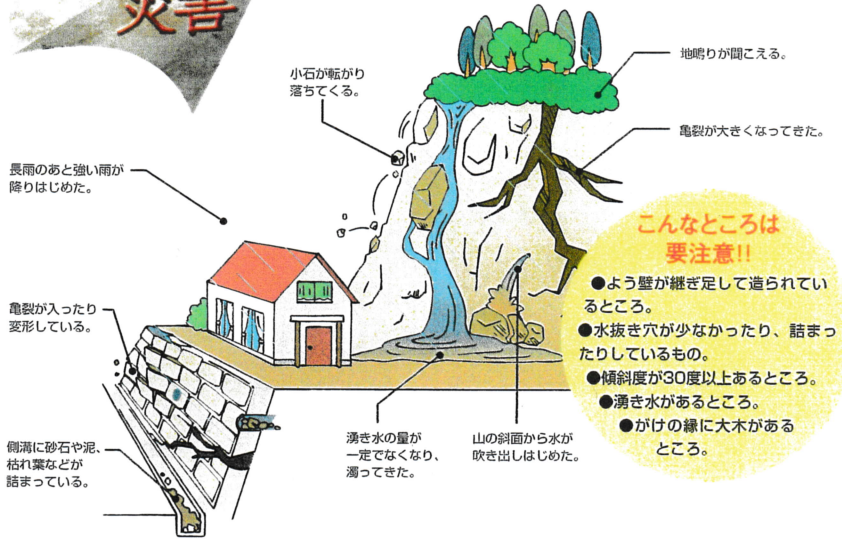
「災害は忘れた頃にやってくる」と言われておりますが、被害を最小限に抑えるためにも、日頃から災害危険箇所・避難場所などを再確認し、日常生活の中で災害への備えに努めていただくとともに、住民皆さんと行政が知恵を出し合い、心と力を合わせて「住んで良かったなあ」といえる「災害に強いまち」づくりに向けて、ともに歩んでいきましょう。

宇治田原町長 奥田 光治

土砂災害

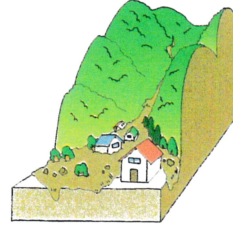
どしゃびがい

突然やってくる土砂災害。しかし、よく観察してみれば土砂災害にもいくつかの前兆があります。それらの前ぶれを理解し、いざというときに備えましょう。



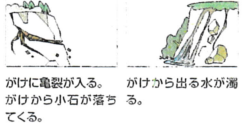
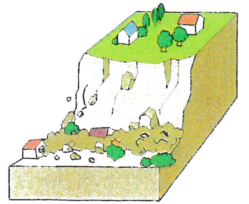
土石流

谷や斜面にたまった土・石・砂などが、大雨や長雨による水と一っしょい一気に流れ出す。速度が速く、破壊力もあるため、大きな被害をもたらす。逃げるときは、流れの方向に対して直角に逃げる。渓流口付近に住んでいる人は特に注意を。



かけ崩れ

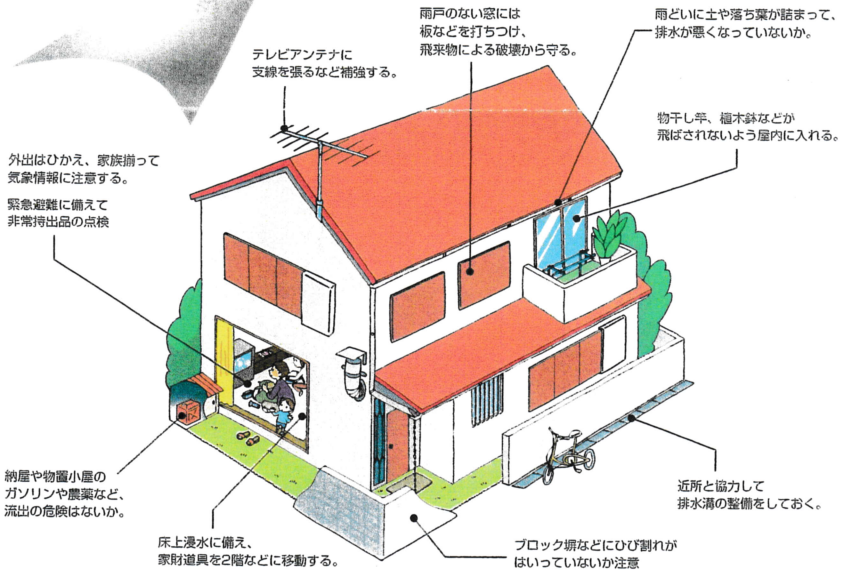
かけの地面に水がしみ込み、弱くなった斜面が突然瞬時に崩れ落ちる。かけの近くに住む人は、その様子に十分注意し、危険を感じたらすぐに避難を。



風水害

ふうすいがい

日本は台風の多い国です。集中豪雨による被害を最小限に食い止めるには、自分で積極的に情報を収集し、気象予報には十分注意して早めの行動を心がけてください。



安全対策と注意点

危険な箇所を調べる
防災マップに記載されている危険箇所を確認しながら、自分の住んでいる地域のどこが危険か、避難所はどこか、確認しておきましょう。

避難の道順を決めておく
速やかに、安全な道順で避難できるように日ごろから調べておきましょう。

情報に気を配る
気象予報など防災関係の情報に気を配り、近所の人たちへの連絡も積極的におこなきましょう。

雨量に注意
土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間あたり20ミリ以上、降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、注意が必要です。

もしも洪水が起きたら...

水位の確認
歩ける深さは股下まで。水深が腰まであるようなら細腰は禁物。高所を救助を待つのが安全。

足元に注意を払う
裸足、長靴は禁物。ひもで締められる運動靴を履き、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら。

子どもから目を離さない
はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難。特に子どもからは目を離さないよう細心の注意を。

避難場所

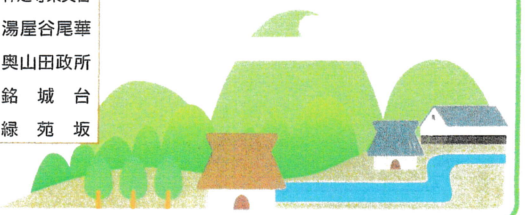
避難場所一覧

名称	備考
老人福祉センター「やすらぎ荘」	
住民体育館	
田原小学校	体育館
宇治田原小学校	体育館
奥山田小学校	体育館
維孝館中学校	体育館

一時避難場所一覧

名称	所在地	名称	所在地
郷之口会館	郷之口田中	禅定寺会館	禅定寺東奥谷
高尾公会堂	高尾向ヒ坂	湯屋谷会館	湯屋谷尾華
南公会堂	南溝尻	奥山田会館	奥山田政所
荒木公民館	荒木東出	銘城台自治会館	銘城台
岩山会館	岩山富ノ門	緑苑坂自治会館	緑苑坂
立川区会所	立川神上		

※避難については、警察や消防団等の指示に従って行動してください。



復旧への道のり

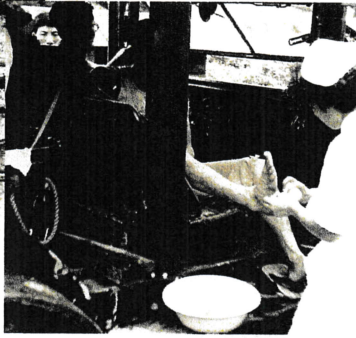
再出発に向けて

陽が昇るにつれて被害の大きさが明らかとなり、当日8月15日には災害救助法が発令され、救援活動・応急復旧活動が開始された。多難な復旧にあえぎながらも、人々は寝食を忘れてスコップを持ち、重いモッコをかきつた。また、消防団を中心とする組織的活動も、地域の復旧に大いに活躍した。しかし、人々の復旧への思いをくじくかのように、あくる9月25日には台風13号が襲いかかり、軌道にのったばかりの復旧工事は後退せざるを得なくなった。

一進一退を繰り返しながら、長く険しい復旧作業の道も3年後には、宇治田原の里に災害の面影をほとんどとめないまでに復旧された。



仮設橋による復旧作業



治療を受ける負傷者

現在の防災活動

住民とつくる 自然を生かした安心のまちづくり

災害を単なる自然現象としてとらえるのではなく、災害を防止し被害をできるだけ少なくすることは可能です。

災害対策の目的は、災害時の住民自身の「自分の生命・財産は自分で守る」という意識と行動を基本にしつつ、住民の生命、身体を守り、財産を保護し、社会生活を維持することにあります。

宇治田原町では、総合的・長期的な地域づくり施策を基本として、防災のまちづくり基本理念（防災ビジョン）を「住民とつくる自然を生かした安心のまちづくり」とし、災害に強いまちに向けて住民皆まともにも目指します。

防災の基本方針

安心のまちづくり

- 災害をできるだけ起こさせない、被害を拡大させない、防災型のまちづくりの推進
- 高齢者、障害者、乳幼児等の視点に立ったきめ細やかな防災対策
- 災害時に即応できる組織・体制の整備
- 住民とつくるまちづくり
 - 行政・住民・企業がともに進めるまちづくり・防災対策
 - 住民・企業との情報の相互提供と自主的な防災組織の育成・支援
 - 住民自身の日頃からの災害への備えと災害時の的確な行動に対する啓発
- 自然を生かしたまちづくり
 - 豊かで美しい自然環境を大切にす
 - まちづくり・防災対策

安心・安全なまちづくり

日常生活が安全で安心に過ごせるよう、宇治田原町では町内各地区の危険箇所について、計画的に改修・修繕を行っています。車両が安全に通行できるように落石防止柵を設けたり、土砂の崩れや移動を防ぐために砂防えん堤を設置したり、さまざまな角度から災害防止に努めています。



防災訓練の様子



失われた人命と住宅の被害

男女別死亡者と行方不明者 (単位:人)

	死亡者			行方不明者		
	男	女	計	男	女	計
田原村	3	4	7	0	0	0
宇治田原村	9	8	17	1	1	2
計	12	12	24	1	1	2

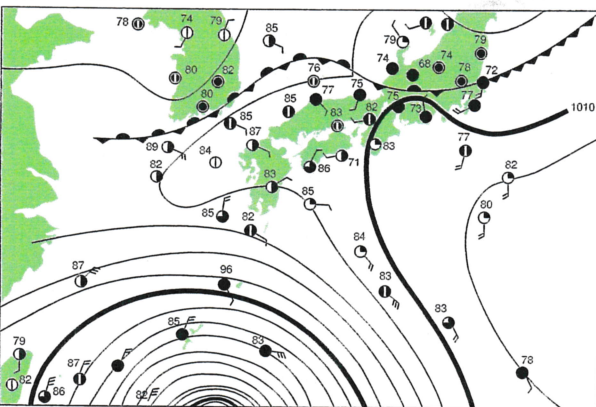
地区別死亡者と行方不明者 (単位:人)

地区名	死亡者		行方不明者
	死亡者	行方不明者	
田原村	7	1	
宇治田原村	岩山	4	1
	立川	2	0
	湯屋谷	1	0
	奥山田	10	0
	計	24	2

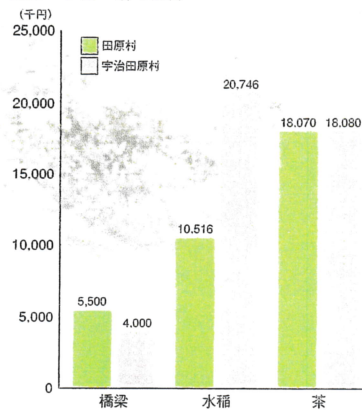
住宅の被害 (単位:戸)

	全壊	流出	半壊	浸水	計
田原村	45	4	37	597	683
宇治田原村	25	—	63	629	717
計	70	4	100	1226	1400

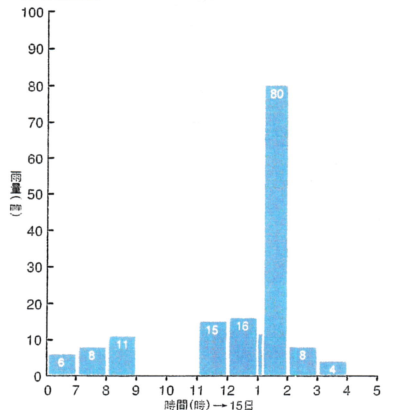
災害時の天気図



橋梁・水稲・茶の被害



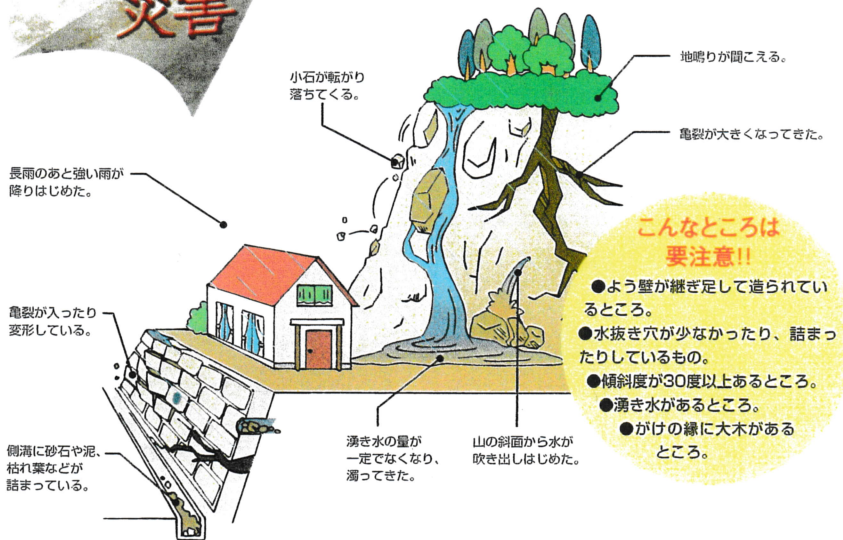
時間雨量図



土砂災害

どしゃがい

突然やってくる土砂災害。しかし、よく観察してみれば土砂災害にもいくつかの前兆があります。それらの前ぶれを理解し、いざというときに備えましょう。



土石流

谷や斜面にたまった土・石・砂などが、大雨や長雨による水といっしょに一気に流れ出す。速度が速く、破壊力もあるため、大きな被害をもたらす。逃げるときは、流れの方向に対して直角に逃げる。漂流口付近に住んでいる人は特に注意を。

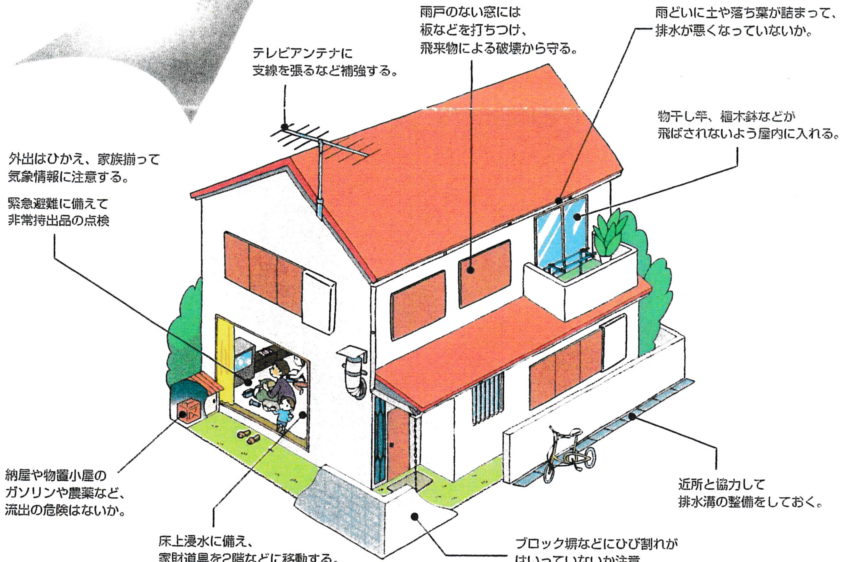
がけ崩れ

がけの地面に水がしみ込み、弱くなった斜面が突然瞬間に崩れ落ちる。がけの近くに住む人は、その様子に十分注意し、危険を感じたらすぐに避難を。

風水害

ふうすいがい

日本は台風の多い国です。集中豪雨による被害を最小限に食い止めるには、自分で積極的に情報を収集し、気象予報には十分注意して早めの行動を心がけてください。



安全対策と注意点

危険な箇所を調べる
防災マップに記載されている危険箇所を確認しながら、自分の住んでいる地域のどこが危険か、避難所はどこか、確認しておきましょう。

避難の道順を決めておく
速やかに、安全な道順で避難できるように日ごろから調べておきましょう。

情報に気を配る
気象予報など防災関係の情報に気を配り、近所の人たちへの連絡も積極的に起こしましょう。

雨量に注意
土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、注意が必要です。

もしも洪水が起きたら...

水位の確認
歩ける深さは股下まで。水深が腰まであるようなら細網は禁物。高所での救助を待つのが安全。

足元に注意を払う
裸足、長靴は禁物。ひもで締められる運動靴を履き、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら。

子どもから目を離さない
はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難。特に子どもからは目を離さないよう細心の注意を。

避難場所

避難場所一覧		一時避難場所一覧			
名称	備考	名称	所在地	名称	所在地
老人福祉センター「やすらぎ荘」		郷之口会館	郷之口田中	禅定寺会館	禅定寺東奥谷
住民体育館		高尾公会堂	高尾向ヒ坂	湯屋谷会館	湯屋谷尾華
田原小学校	体育館	南公会堂	南溝尻	奥山田会館	奥山田政所
宇治田原小学校	体育館	荒木公民館	荒木東出	銘城台自治会館	銘城台
奥山田小学校	体育館	岩山会館	岩山富ノ門	緑苑坂自治会館	緑苑坂
維孝館中学校	体育館	立川区会所	立川神上		

※避難については、警察や消防団等の指示に従って行動してください。